

事業主の皆様へ

京都府と京都労働局は不妊治療との両立ができる職場づくりを目指す皆様を応援します。

# 仕事と不妊治療 の両立支援コール

相談  
無料



## + 不妊治療について、ご存じですか？

✓ 検査や治療を受けたことがある夫婦は**5.5組に1組**

✓ 治療を職場へ一切伝えていない人は約**58%**

✓ 仕事と両立できなかった人は約**35%**

✓ 体外受精などの**保険適用**(2022年見込み)

✓ 治療に対する言動が  
**ハラスメント**の原因や背景に

✓ 両立を支援する事業主への**助成金**制度

詳細は裏面をご覧ください

気になった事は何でもご相談ください。  
まずは知ることから始めませんか？

不妊治療を受けている社員はいないので現状で問題ないと考えているが…。

従業員から不妊治療中と打ち明けられたが、会社としてどうバックアップすれば良いか？

今ある制度を活用できないか？新たに制度を作る場合はどのような制度が良いのか？

体外受精などの保険適用が話題になっているが、従業員や企業へどのような影響があるのか？

こういったことがハラスメントになるのか？リスクマネジメントを考えたいのだが…。

『仕事と不妊治療の両立支援コール』は京都府が開設している無料相談窓口です

- 看護師、精神保健福祉士、産業カウンセラー等の資格を持ち、両立支援や企業の休暇制度等に造詣が深い専門相談員が対応します。
- 電話相談だけでなく、来所相談や企業への訪問も可能です。

きょうと子育てピアサポートセンターのポータルサイトからご予約ください

仕事と不妊治療の両立支援コール ※毎月第1金曜日9:15~13:15はご予約無しでお電話ください。

TEL **075-692-3467**

毎週月~金曜日  
9:00~21:00(祝日・年末年始を除く)

きょうと子育てピアサポートセンター  
ポータルサイト

<http://Kyoto-kosodatepia.jp/ryouritusiencall/>



- 従業員の方からのご相談もお待ちしております。
- 従業員の方へ向けたチラシも作成していますので、配布に御協力いただける場合はご連絡ください。  
きょうと子育てピアサポートセンター TEL : 075-692-3444

# 不妊治療 について、ご存じ ですか？

検査や治療を受けたことがある夫婦は**5.5組に1組**、

治療を職場に伝えていない人は約**58%**

日本では、夫婦全体の2.9組に1組が不妊を心配したことがあり、実際に不妊の検査や治療を受けたことがある(または現在受けている)夫婦は**5.5組に1組**の割合にのぼります。そして、治療を職場に伝えていない人は約**58%**。把握が難しい面もありますが、皆様の職場にも実際に受けている従業員の方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

仕事と両立できなかった人は約**35%**

“仕事と両立できなかった人”とは「両立できず仕事を辞めた」16%、「両立できず不妊治療をやめた」11%、「両立できず雇用形態を変えた」8%の合計です。仕事と治療の両立ができなかった理由として「通院回数が多いため」、「精神面での負担、体調や体力面での負担が大きい」、「仕事の日程調整が難しいため」が大きな理由として挙がっています。

## 体外受精などの保険適用

2022年4月から、**体外受精等の不妊治療が公的医療保険の適用対象となる予定です**。不妊治療に要する通院日数は、医師の判断、個人の状況、体調等により増減しますが、目安は表のとおりです。体外受精をはじめとした生殖補助医療は、**一般不妊治療に比べて頻繁な通院が必要**となります。保険適用になることで生殖補助医療を受けやすくなると、**仕事との両立に悩む人が増える可能性が高くなります**。柔軟な働き方の整備は待ったなしの状況です。

治療	月経周期ごとの通院日数目安	
	女性	男性
一般不妊治療	診療時間1回1~2時間程度の通院:2日~6日	0~半日 ※手術を伴う場合には1日必要
生殖補助医療	診療時間1回1~3時間程度の通院:4日~10日 + 診療時間1回あたり半日~1日程度の通院:1日~2日	0~半日 ※手術を伴う場合には1日必要

## 治療に対する言動が

### ハラスメントの原因や背景に

2020年6月1日より、職場におけるハラスメント防止対策が強化され、職場における妊娠、出産等に関するハラスメントの防止対策も強化されました。その中で**不妊治療に対する否定的な言動が、ハラスメント発生の原因や背景になり得ることが明文化されています**。否定的な言葉以外にも、「頑張って!」や「結果はどうだった?」など応援の言葉でも本人にとっては傷つくことがあります。従業員がハラスメントと感じてしまう事例がないよう、企業としてのリスクマネジメントも重要です。

治療はいつまで  
続くの？

まだ若いから、今は  
仕事を優先したら？

治療するなら  
退職してからにして

また休むの？

『仕事と不妊治療の両立支援コール』のご利用は

きょうと子育てピアサポートセンターのポータルサイトよりご予約ください。



京都労働局では**助成金**をはじめ**不妊治療と仕事の両立支援**に取り組んでいます。

活用しませんか？

**助成金**

ご相談は京都労働局へ

### ○中小企業事業主に対する**助成金**の支給

- ① **「働き方改革推進支援助成金(労働時間短縮・年休促進支援コース)」**  
不妊治療に利用できる特別休暇制度(多目的・特定目的とも可)を導入した事業主を助成します。
- ② **「両立支援等助成金(不妊治療両立支援コース)」**  
不妊治療に利用できる休暇制度や両立支援制度(所定外労働の制限、時差出勤、短時間勤務、フレックスタイム制、テレワーク)を整備し、従業員に利用された事業主を助成します。

○制度導入マニュアルなど、啓発資料等の周知

□ 助成金の詳細や、両立支援に関する資料等については、こちらからご確認ください→

□ 京都府労働局 雇用環境・均等室 TEL: 075-241-3212



引用・参考: 不妊治療を受けながら働き続けられる職場づくりのためのマニュアル(厚生労働省)

事業主が職場における妊娠・出産等に関する言動に起因する問題に関して雇用管理上講ずべき措置等についての指針(厚生労働省)